

ALSでも

社長で父親です！

今は健康でも、いつ病魔に襲われるかはわかりません。
そんな時でも、経営者、経営幹部は心折れることなく、
仕事そして家族との責任を果たす必要があるでしょう。

プロサッカーチーム FC 岐阜元社長の恩田聖敬さんは
35 歳の若さで ALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症しました。

ALS は、脳や末梢神経からの神経伝達を筋肉に伝える運動神経細胞(運動ニューロン)が死滅してしまう病気です。
数年前、ALS の研究をする団体への寄付を目的とした、氷水が入ったバケツを頭からかぶる「アイス・バケツ・チャレンジ」がインターネットの動画サイトや個人の SNS でクローズアップされました。これによって、その名前だけでも知っているという人は多いと思います。

通常、私たちの体は脳からの指令が神経を伝わり、各部位の筋肉へ届くことによって全身を動かすことができます。ところが運動ニューロンが働かなくなることによって、脳がいくら指示を送っても体を動かすことができず、その結果、筋肉が劣化し全身がやせ細っていきます。やがて食べ物を飲み込むこと、そして末期になると自力で呼吸することすら難しくなるのです。

恩田さんはこの病気になりながらも、しかし力強く、仕事、そして家族への責任を果たし続けられています。

KKC2 月例会では、病気と闘いながらも自分らしく生きておられる恩田さんをお招きし、そのお話やお姿から生きる力を感じたいと思います。

講師紹介

恩田 聖敬 氏

株式会社まんまる笑店 代表取締役社長

1978 年生まれ。岐阜県出身。京都大学大学院航空宇宙工学専攻修了。新卒入社した上場企業で、現場叩き上げで 5 年で取締役役に就任。その経験を経て、J リーグ・FC 岐阜の社長に史上最年少の 35 歳で就任。現場主義を掲げチーム再建に尽力。就任と同時期に ALS(筋萎縮性側索硬化症)発症。2015 年末、病状の進行により職務遂行困難となり、やむなく社長を辞任。翌年、『ALS でも自分らしく生きる』をモットーに、クラウドファンディングで創業資金を募り、(株)まんまる笑店を設立。講演、研修、執筆等を全国で行う。著書に『2 人の障がい者社長が語る絶望への処方箋』。2018 年 8 月に、気管切開をして人工呼吸器ユーザーとなる。私生活では 2 児の父。
岐阜大学 非常勤講師、日本 ALS 協会 岐阜県支部支部長

ブログ <http://blog.livedoor.jp/onda0510/>
Facebook <https://www.facebook.com/onda0510>
Twitter @onda_satoshi
オフィシャルサイト <https://ondasatoshi.com>

講演内容

- ・自己紹介と ALS
- ・私と FC 岐阜
- ・仕事は面白い！
- ・私と家族
- ・最後に

日時

2020 年 2 月 20 日(木)
15:30 ~ 18:00

15:00 ~ 受付開始
15:30 ~ 16:00 挨拶
16:00 ~ 17:30 講演
17:30 ~ 18:00 質疑応答

会場

愛知県産業労働センター
(ウインクあいち) 12 階 1203
愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

対象者

中小建設会社の経営者、幹部、後継経営者、
将来経営者になる予定の方

参加費

5,000 円 / 人
KKC 会員企業は会員含め
同社から 2 名まで無料

※懇親会参加費別途 5,000 円